

平成9年4月30日現在

栄町 SAKAEMACHI

世帯数 287戸
人口 969人

“寿！栄町 さかえて ことし30年”

東西にこんもりとした稜線を描く猪子山、時に北向観音の祠がチラッと見えたり、読経の声が流れてくる朝もあります。このような光景が眺められる佐野の田園地帯に栄町が誕生したのは30年前となりました。

あちらの田んぼの角に1戸、こちらの田んぼの中に1戸と宅地造成や住宅建設が始まったのは昭和40年(1965)頃からで、昭和42年には約30世帯となりました。この新天地を憧れ生活の根拠地と定め、健全な家庭づくりをなし一致団結しようとその名も「栄町」と称し、以来急速に増加、まもなく300戸になり、住みよい楽天地となっています。

生活の立地条件もよく商店街や各金融機関、病院、小・中学校にも近く、能登川駅へ行くにも交通信号や踏切がなく、通勤・通学にはとても便利で、町内の新興住宅開発のさきがけでした。

当時は現在のような自家用車が1戸に1～3台保

有することなどは想定されなかったため、今日では道路幅が狭く交差点には隅切りもなく、今後のゆとり・安全・快適な町づくりの課題であると思います。

朗報としては平成10年(1998)には、町が建設される「法堂寺遺跡公園」が完成し、多目的広場として利用できることです。現在、公園も広場も空き地もないところへ広大な公園が設置されると、憩いや散歩など人々の交流の場となるでしょう。

出身地は町内が主ですが、他府県からの転入もあり、国自慢や方言を聞けるのも楽しみのひとつです。

新しく開けた町ですので、古くからの伝統、習慣、行事、儀式はありませんが、現在約1000人近くの人口となり、栄町も高齢化してきました。

しかし、人生の苦難、荒波を乗り切って、それぞれの道に精通した方々が数多く健在です。区民の英知を結集し、やがてくる21世紀の時代にマッチした、文化の創造を望むところです。



区民カラオケ大会(平成8年度)



開発当時の栄町2丁目付近



区民文化祭作品(平成8年度)

平成9年4月30日現在

泉台 IZUMIDAI

世帯数 156戸
人口 517人

私は、この泉台に住んで7年目にさしかかったところ
です。最初から住んでおられる方々に聞くと、泉台
が生まれてから、かれこれ20有余年たつそうです。

昔からある行政区と違って、歴史の浅い泉台は、皆
さんに紹介する名所・旧跡ありませんが、この間に、
いろいろな行事もできました。

写真にあるように夏の納涼祭・ソフトバレーボー
ル・グランドゴルフ大会などです。春と秋に一度ずつ
組対抗で楽しんでいます。

また消火栓の使い方など、火事がおきたときに初期
でくいとめられるよう、消防訓練も年に一度は行って

います。

いまこの泉台で問題になっているのは、違法駐車
です。道の幅が狭いところに車を停めると、本当にいざ
何かあったときや子どもたちも危険です。

一家に1台という時代は過ぎて一人に1台という
この頃ですが、何とかしなければならない問題です。

まだ、これからの行政区ですが、みんなの力を合
わせてよりよい区にしたいと思います。泉台の中を流
れる瓜生川うりゅうには蛭もいます。また一度、見に来てくだ
さい。



遊びが本気になる楽しい大会です



夏の納涼祭 O-157で飲食はなくなりましたが、子どもたちは宝さがして
盛り上がりました。

平成9年4月30日現在

高岸台 TAKAGISHIDAI

世帯数 49戸
人口 166人

高岸台は、20数年前に新興住宅地として造成された地域でまだ歴史が浅く、しかも50所帯そこそこの小さな行政区です。

20数年前当時はまだ周囲には田園地帯が広がっていましたが、最近では周辺にもいろいろと建物が建ち並び、町づくりが急テンポで進んできました。

当時は新興住宅地ということもあって、若い人がほとんどで、いろんな機会に地域の将来のことを語り合ってきました。ただ当時は場所がなく、自治会の大掃除の後などにムシロ等をひいて、酒をくみ交わしながら語り合ったことが懐かしく思い出されます。

最近では草の根ハウスという立派な集会所が建って、いろんな面で活用できるようになりました。また、下

水道工事につきましても能登川町では最初に手掛けていただき、環境面においてもかなり充実してきました。

こうした恵まれた環境のもとで毎年いろんな行事が行われますが、中でも一番のイベントは夏の納涼祭で、カラオケの舞台は手作りで行い、夏の日が落ちる頃には、それぞれの「のど」を競い合い、楽しい一時を過ごします。

また、スポーツにおいては以前野球やバレーが盛んでしたが、最近では体の方が動かなくなりつつあり、グランドゴルフが盛んに行われています。

今後は、お互いに老後の福祉面を重視した環境づくりをめざして、頑張っていきたいと思っています。



草の根ハウス落成式



高岸台運動会



夏の納涼祭

平成9年4月30日現在

志賀田 SHIGATA

世帯数 65戸
人口 214人

志賀田自治会は、発足時に行政区の名前をつけました。これには、さまざまな案が出されましたが、最終的に当時の地名でもあった「柿の木立」か「志賀田」のどちらにするか議論した結果、「志賀田」とつけました。

自治会が発足して20年が経ちました。現在、65世帯の小さな自治会ですが、新興団地としてはとてもまとまっています。子供会、老人会（お楽しみ会）が中心となって、みんなで参加を呼びかけて盛り上げています。また、月1回「志賀田ニュース」を発行して、町行政のこと、役員会で決定したこと、自治会行事など

を載せ、各組長さんに配布してもらい、住民の連絡が図れるよう努力してきました。毎年役員が交代で新聞作りをしているこの歴史も20年が経過しました。その甲斐あって、親睦も深まり、いまでは老人の方にも、とても喜んでいただいております。

そして、平成8年（1996）度には「志賀田音頭」もでき上がり、夏祭りに子供、老人、自治会が参加し、輪になってみんなで踊ることができました。

これからも、能登川町の合言葉である「出あい、ふれあい、語りあい」を基本に自治会活動を行っていき、とにかく「志賀田に住んでよかった」と言える自治会にしていきたいと思えます。

志賀田「秋のフェスティバル」 子供会・老人会・自治会による年に一度の大イベント。クイズやゲーム、抽選会、志賀田音頭などで盛り上がりました。



組対抗のパターゴルフ大会 秋空のもと、ふれあい運動公園にて和気あいあいとゲームをして楽しみました。

平成9年4月30日現在

ドリームハイツ DREAM HIGHTS

世帯数 210戸
人口 705人

私たちの住む町ドリームハイツは、昭和53年(1978)3月に自治会が発足して今年(1997)で20年目をむかえました。自治会の歴史もまだまだ浅いドリームハイツではありますが、この地を生涯のまたは生活の地として居住している210世帯の家族がおります。

平成2年(1990)9月の台風19号による愛知川の洪水での浸水を契機にして自警団組織の確立、ドリームハイツ防災方針、愛知川対策委員会の発足があります。

また自治会と自警団が中心となって、独居老人や老人世帯への訪問活動や災害時の避難方法も確立しております。

自治会では各種のサークル活動もさかんになってき

ております。ソフトボール同好会、バレーボール同好会、遊遊クラブ、カラオケ同好会、^{りょくじゆ}緑樹会等があり、各々楽しい活動をしております。

他の自治会のような伝統のある行事はありませんが、年に一度の納涼祭は自治会の全組織(子供会、中学生自治会、緑樹会、各サークル)をあげての納涼祭です。^{もぎ}模擬店も多く出店して楽しい夏の1日を過ごします。

“環境のよい町づくり”

“安心できる町づくり”

“楽しい町づくり”

“心豊かな町づくり”

ドリームハイツ自治会のめざすところです。



自警団訓練風景



バレーボール同好会